仕事と信仰

「神様の視点」から仕事を考える

Lightプロジェクト「信仰と仕事ワークショップ」（上）

グレースシティーチャーチ東京（福田真理牧師）の信仰と仕事ミニストリー「Lightプロジェクト」の「信仰と仕事ワークショップ」が6月30日、東京・品川区の貸会議室で行われた。テーマは「初めに仕事があった！」で、聖書の「創造」とティモシー・ケラー著『この世界で働くということ』（いのちのことば社）1～4章をベースにした聖書からの「働き方改革」シリーズ。同プロジェクト・コアチームメンバーの池上ラファエルさんがレポートする。

「Lightプロジェクト」は、「一般社会で働くクリスチャンが、イエス・キリストの光（Light）を職場で輝かせることができるよう、励まし、訓練する」のが目的で、同教会メンバーのサックス知子さん（同プロジェクト・ディレクター）が2017年11月に立ち上げた。

今回は13教会から31人が参加し、3人の牧師が参加。まず、サックスさんから、最初に神が素晴らしい仕事をデザインされたこと、一人一人に神から仕事が与えられていることなどのまとめがあった。続いて、仕事も教会も違う3人から証しがあった。

§　§

1人目は、グリーソン・ハナさん。日本の翻訳会社に勤めて3年目。教会は、江東区豊洲のグレースハーバーチャーチ。大学3年生の時、豪シドニーで将来の進路で迷っている時、イエス様に出会った。「仕事の概念は、最初にシドニーの航空会社で顧客応対の仕事に就いた時に形成された。週5日、朝9時半から夜5時半までの労働で、残業もほとんどなく、非常に自由な環境で働いていた。そのため仕事への意識は低く、仕事とはただ生活費を稼ぐためのもので、生きている人生の一部分にすぎないと考えていた」と当時の心境を率直に語った。

証しをするグリーソン・ハナさん

小川武Tomさん

前原久美子さん

その後、「宣教の気持ちで日本に移ると、翻訳者としての道が与えられた」。「翻訳の業務では完璧を求められる。ミスを犯すたびに上司との関係が気まずくなったり、仕事に対するやる気もなくなり、悪循環になって、翻訳は向いてないのではと思うようになった」と心の葛藤を明かした。だが、「神様の真実に立ち、この1年、上司との関わりを通して、以前より仕事に真剣に取り組み、より質と精度の高い翻訳ができるようになった。能力の向上にもつながった」と話す。「ウェブサイトなどで実際に自分で翻訳した成果が見える。神様の偉大な恵みを感じる」とし、「仕事自体には非常にやりがいを感じている」と語ってくれた。

§　§

2人目はサービス付レンタルオフィスなどを提供している外資系企業で働く前原久美子さんで、入社9年目。教会は、江東区木場にある堺福音教会東京チャペル。「外資系企業では時の流れがとても速く変わっていく」というのが前原さんの印象で、「入社時は秘書として、入居している様々なクライアントの事務的な業務をサポートし、その2年後にアシスタントマネージャー、3年後にマネージャーとして一つの拠点を取り仕切る様になった。常に自分の能力やキャパシティー（容量）を上回る仕事量や結果を求められ、心地よいと感じるゾーンから押し出され続けた9年間だった」と振り返る。「マネージャーになった当時はその責任が重過ぎて途方にくれた。拠点の売り上げや運営の責任が、自分にかかっているという重さは、実際になってみて初めて分かった」、「部下に下す判断の一つ一つは、直接的に影響を及ぼし、人間的な力では到底もたなかった」と、葛藤やプレッシャーを分かち合ってくれた。

同時に、「1年前から朝1時間ほど祈って心を整えてから仕事に行くようになり、祈ることがいかにありがたいかを実感するようになった」とし、「忙しい毎日の中で、神様の前にひれ伏し、祈り賛美する時間をぜひ持ってみてほしい」と勧めた。

§　§

3人目は、人生の70％をアメリカで過ごしたという小川武Tomさん。教会は、千代田区大手町のグレースシティーチャーチ東京。米ロサンゼルスでクリスチャンになった後、神様から「日本に行きなさい」と言われ、1年半におよび神様との間で葛藤した後、アメリカのエンターテインメント会社の東京支社における仕事を与えられ、昨年来日した。神様のされることに、驚きと共に「神から預かった仕事を大切にしたい」と感じているという。

今回のワークショップの前に行われた「信仰と仕事のテストコース」を受け、「仕事自体に対し神様と相談しながらしているわけではなかった自分が、仕事を神様の視点で考え始められている。神様から召されている自分の仕事において、社会の発展に貢献する側面が見え始めている」と自身の変化を分かち合った。

§　§

グループディスカッションでは、「仕事を礼拝としても捧げられる自信がついた」、「仕事について神様の視点から考えられるようになった」、「3人が仕事の中で神様に向き合っていることが分かった」、「仕事が神様の栄光につながるという言葉が印象に残った」、「祈ることの大切さにも心を打たれた」など、様々な感想が寄せられた。この世で働くことは大変なことやつらいこともあるが、本当の仕事の意味を見出すことができたのではないかと思う。（つづく）